

式 辞

本日ここに、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学の2026年度入学式を挙行できますことを大きな喜びとし、新入生の皆さんを心より歓迎いたします。今日まで皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆様にも、心からお祝いを申し上げます。また、ご来賓の皆様には、ご多忙の折、ご臨席を賜り誠に有難うございます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日という日は、皆さんにとって新しい人生の出発点です。大学、そして短期大学での学生生活は、専門知識を学ぶ時間であると同時に、自分自身の生き方を見つめる大切な時間でもあります。本学での学びと出会いが、皆さんの人生の礎となることを願っています。

さて、皆さんがこれから送る大学生活は、かつてないほど大きな変化が待ち受けているでしょう。特に近年、人工知能、すなわちAIの急速な発展は、社会の構造そのものを変えつつあります。最近では「AIマゲドン」という言葉が使われることもあります。これは、AIが人間の知的能力を急速に追い越し、社会の仕組みや仕事のあり方が、大きく変わる可能性を表す言葉です。すでにAIは、人間が長い時間をかけて行ってきた知的作業を、短時間で行うようになっていきます。文章を書き、翻訳を行い、プログラムを作り、医療診断を支援し、法律文書を分析し、研究論文の要約さえ作成するようになりました。さらに、AIは単なる道具ではなく、人間の意思決定を支援する存在になりつつあります。企業の経営判断、金融市場の分析、都市計画、教育、医療など、多くの分野でAIが重要な役割を担うようになっていきます。その結果、働き方も大きく変わろうとしています。これまで人間が行ってきた多くの仕事は、AIによって自動化される一方で、新しい仕事や新しい価値が生まれていくでしょう。皆さんが卒業する頃には、今はまだ存在しない職業が生まれているかもしれません。同時に、AIをどのように使い、人間社会に役立てるのか、という倫理的な判断もますます重要に

なりません。しかし、このような時代だからこそ、人間にしかできないことがより大切になります。Aは膨大な情報を処理することができます。しかし、人間の苦しみに寄り添うことはできません。Bは合理的な答えを導き出すことはできません。しかし、人を愛することはできません。Cは未来を予測することはできません。しかし、希望を生み出すことはできません。だからこそ、本学が大切にしてきた「信仰・希望・愛」という建学の精神は、D時代においてこそ、より大きな意味を持つのです。

皆さんにはぜひ、この大学で三つの力を育ててほしいと思います。第一に、深く考える力です。Eが答えを提示する時代だからこそ、「何が正しいのか」「何が人間にとって大切なのか」を問い続ける力が必要になります。第二に、他者と共に生きる力です。社会は多様な人々によって成り立っています。互いを理解し、協働する力が社会を支えます。そして第三に、希望を持ち続ける力です。どれも社会が変化しても、未来をあきらめない人が社会を前に進めていきます。

大学生活は、人生の中でも特に自由で可能性に満ちた時間です。多くの文献を読み、多くの人と出会い、多くの挑戦をしてください。失敗することもあるでしょう。しかし、その経験こそが皆さんの人生を豊かにし、社会に貢献する力となります。本学での学びを通して、皆さん一人ひとりが自らの使命を見出し、人々に希望をもたらす存在へと成長していくことを、心から願っています。皆さんの未来には、まだ誰も見たことのない可能性が広がっています。その可能性を信じ、希望を持ち、そして人を愛する心を忘れずに歩んでください。未来は、今まさに、この瞬間から始まります。ともに、学び、成長し、そして、より良い社会、ありたい未来の実現を目指しましょう。本日は誠におめでとうございます。

令和八年四月二日

松山東雲女子大学 松山東雲短期大学 学長 水代 仁